



日本センチュリー交響楽団

第281回 定期演奏会

シーズン開幕 名匠・秋山和慶のタクトが誘う新しい景色

指揮 Kazuyoshi Akiyama / Conductor

秋山和慶

日本センチュリー交響楽団
ミュージックアドバイザー

(c) s. yamamoto



一年越しの夢ー小林愛実が魅せるラフマニノフ

小林愛実

ピアノ Aimi Kobayashi / Piano



(c)Shuhei Tsunekawa



(c)井上豊和

JSO 日本センチュリー交響楽団

◆レズニチュク：歌劇「ドンナ・ディアナ」序曲

E. Reznicek : Overture to the Opera "Donna Diana"

◆ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43

S. Rachmaninov : Rhapsody on a Theme of Paganini, Op. 43

◆デュティユー：交響曲 第1番

H. Dutilleux : Symphony No. 1

Program

2024 4/12 (金)

ザ・シンフォニーホール

19:00 開演 18:00 開場

ご予約
お問合せ

センチュリー・チケットサービス

<https://www.jcso.or.jp/ticket/>

TEL **06-6848-3311**

平日 10:00-18:00



対象公演

送迎バス

学生年間バス

スペシャルスポンサー

地主株式会社 旭酒造株式会社
JINUSHI Co., Ltd.

フレンドシップパートナー

GAMBA OSAKA

主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 <https://www.jcso.or.jp/>

●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

オフィシャルスポンサー

栄光ホールディングス株式会社 / MKS MKSIV-T / 株式会社エムズ住建設 / ONKYO / kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall / 新コスエス電機株式会社 / S Shadow / TCG 高松コンストラクショングループ / TAKUMA / TOYO TIRES / Hankyu / THE HILTON PLAZA / Phoxter / 三井住友信託銀行



日本センチュリー交響楽団 第281回 定期演奏会

新シーズン始まりの定期演奏会は、秋山和慶ミュージックアドバイザーのタクトで華やかに開幕します。

レズニチュク作曲のオペラ「ドンナ・ディアナ」の快活な序曲から始まり、ソリストには小林愛実が待望の登場となります。

ショパン国際コンクール第4位受賞後、改めて世界中から引く手あまたの存在となり、プライベートでも大きな変化を経て、さらに深みを増した音楽を届けてくれることでしょうか。煌びやかで超絶技巧溢れるラフマニノフにご期待ください。

メインは、デュティユー 交響曲第1番。フランス現代音楽の巨匠・デュティユーの色彩豊かなシンフォニーに初挑戦します。

春爛漫・センチュリーがお届けする色とりどりの音楽を、どうぞお楽しみください。



秋山 和慶 (指揮) Kazuyoshi Akiyama / Conductor 日本センチュリー交響楽団 ミュージックアドバイザー

2024年に指揮者生活60年を迎える秋山和慶は、齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。翌年東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。また、NYフィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、フィラデルフィア管、スイス・ロマン管など世界の一流オーケストラに客演している。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



小林 愛実 (ピアノ) Aimi Kobayashi / Piano

2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。1995年山口県宇布市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。これまでに、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響、ポスカ指揮チューリヒ・トーンハレ管など国内外における多数のオーケストラと共演。

2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。サントリーホールで日本人最年少となる発売記念リサイタルを開催した。翌2011年にはセカンドアルバム「熱情」をリリース。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ファイナリストとなった。2018年4月、ワーナークラシックスよりCD「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリース。同年8月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し好評を得た。2021年8月ワーナークラシックスより最新CD「ショパン:前奏曲集 他」をリリース。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回回出光音楽賞受賞。

日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者(2025年4月より音楽監督就任予定)を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。

オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>

街に響く。心に届く。



チケット情報	S席 8,000円 ★サイン入りプログラム付き	A席 6,500円	B席 5,000円	C席 3,500円	D席 2,000円
	センチュリー・チケットサービス 平日10:00-18:00 TEL 06-6848-3311 日本センチュリー 検索	チケットQR 	<input type="checkbox"/> ザ・シンフォニーチケットセンター TEL 06-6453-2333 (11:00-16:00 火曜休) <input type="checkbox"/> チケットぴあ https://t.pia.jp/ Pコード 259-474 <input type="checkbox"/> e+ (イープラス) https://eplus.jp/ <input type="checkbox"/> ローソンチケット https://l-tike.com/ Lコード 56336		

送迎バス シンフォニー定期演奏会場 送迎バス運行中

- 区間: 大阪駅〜ザ・シンフォニーホール間の送迎
- 運行回数: 開演前と終演後各2便ずつ(状況に応じて増便有)
- 乗車運賃: 一回200円 *定期会員様はバス乗車券をご利用ください。(U-35席除く)